

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」出町柳校			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 4日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別療育でその子に応じたオーダーメイドの療育。	・指導員間での情報共有をしている。 ・児童の課題を見つけ内容を選定している。 ・子どもが楽しいと思える内容を考えている。 ・本児の様子を見てその日の内容を調節している。	・保護者と話す時間をより確保できるようにして学校や家庭の様子を聞き取っていく。 ・子どもの様子や取り組み内容について職員全体で共有をしていく。
2	・保育士や認定心理士の資格を持っている職員がいる。	・知識や経験を活かした療育を考え一人ひとりに合った内容に取り組んでいる。 ・内容や対応に困った時は資格や経験が多い職員に聞くようにしていく。 ・保護者に対して経験を活かした助言を伝えている。	・知識などを他の指導員にも共有していく。 ・困った時など聞ける時間や環境を整えていき職員一人ひとりが知識を得られるようにしていく。
3	・送迎時に保護者との関りが多い。	・療育時間内に来所して頂き様子ややり取りを実際にみてもらう。 ・家庭での困り感、様子を聞き対応策や方法を伝えていく。 ・話す時間を確保できるようにしている。	・療育を見てもらうための声掛け等を行っていく。 ・家庭や学校の様子を聞く中で変化や成長にも気付き伝えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・集団での活動が少ない。	・時間の調節が難しい。 ・利用時間のスケジュールが合わない。	・小集団の活動について周知していく。 ・土曜日や長期休みを利用してスケジュールを組み立てていく。 ・課題によって児童と関わる時間を設けていく。
2	・通所を希望されても空きがないためすぐに案内ができない。	・継続して利用している方が多く卒業が少ない。 ・夕方の時間帯に利用している方が多い。	・空きが出た場合ご連絡をする。 ・適宜、課題や成長など確認していき子どもに合った居場所を提案していく。
3	・支援室が少ない	・使用できるスペースに限りがあることが要因。 ・一時間に利用人数が決まっており部屋の空きがない。	・教室の割り振りなど工夫して支援を取り組んでいく。 ・時間によって空いている部屋があれば促していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」出町柳校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 39

回収数 25

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	3			活動の内容により十分な時もあるし不十分な時もある。	本児の様子を伺いつつ保護者様とも相談のうえで活動内容を選定させていただきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23			2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	3		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1			学習や運動面だけではなく生活面でもアドバイスや支援を頂いているのがありがたいと思います。	ご家庭では難しい取り組みでも出来る限りのサポートはさせていただきます。いつでもご相談ください。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	24	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23			2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24			1		
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24			1	その都度内容を変更して実施して頂いていると思います。ありがとうございます。	内容を固定化しないように課題は何か相談しつつ取り組んでいます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	8	11	機会はないが、それで問題はないと思います。	今後、交流する予定はありませんがご要望などがあれば検討いたします。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24			1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	1		1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	4	1	8		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	24	1			毎回丁寧にフィードバックして頂いており成長、課題点など共有できていると思います。	学校や家庭の様子、支援の様子を丁寧に伝えることは心掛けております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24		1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24		1		親身に相談に乗って頂いています。	支援の様子を伝えるだけではなく日々のお悩みなどもうことを心掛けております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	4	16	実施されていないが問題はないと思います。	今後、実施する予定はありませんがご要望などがあれば検討いたします。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	3		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	2		10	HPを自ら見ていないためわからない。	きらりのホームページには毎月ブログを掲載しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			3	どのように取り扱っているのかわからない。	契約時にも説明はさせて頂いておりますが、鍵付きの書庫にて保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	3	1	3	概要でプリント1枚マニュアルがあれば助かります。	校舎に提示しいつでも確認できるようにしておきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	2		8	時々避難訓練をしてみてもいいかもしれません。	月1回様々なテーマで避難訓練を行っています。何をしているのか変わりやすいように実施日のポスターを掲示致します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			7		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	24			1	いつも長時間相談に乗って下さりありがとうございます。	ご増段やお悩みがありましたら別日でも時間を設けることが可能ですので仰ってください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」出町柳校					公表日	2026 年 2 月 14 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○							
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		大きい部屋の床を張り替えてほしい。	車いすの場合、トイレの出入りは困難となる。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			経年劣化による摩耗が目立つ。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもの性格や特性、同時刻に支援している他児の状況を踏まえ、臨機応変に対応することができている。					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		月初めに、1 か月ごとの振り返りをしている。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○							
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		常に話す事ができる雰囲気づくりができている。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		監査で受けた評価について、職員間で共有され、業務改善に努めている。					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修や社外研修について随時共有があるため、職員が研修を受ける機会は確保されている。					
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○							
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		受付シートや見学、体験などで聞き取り、アセスメントを行い、計画を作成している。					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員と相談しながら課題設定を行っている。					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画について児発管から指導員へ共有があり、それをもとに支援を行っている。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内のアセスメントシートを通して、確認することができている。					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを踏まえ、子どもの特性や状況に応じた目標設定と支援内容が適切に行われている。					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当指導員同士や児童発達支援管理責任者と連携を図りながら立案を行っている。					

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者が楽しめる内容を主として、見えてくる課題を踏まえながらプログラムを組んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団療育の対象となる利用者には、積極的に集団活動を案内し、支援計画の作成・支援を実施している。	児童によっては他児と関わる機会を増やしていき会話の幅を広げられるようにしていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝のミーティング時に利用する子供の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援で取り組んだことや子どもの様子を伝えている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		監査前には、担当の利用者の記録がとれているかどうか各職員が確認を行っており、記録の漏れを防いでいる。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングは児発管が半年に1回行っており、適切な見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		子どもの達成度や様子を踏まえながら、活動内容に複数の要素を組み合わせ支援を行えている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもの特性や状況に応じて、選択の方法を工夫している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○	関係機関との会議を開催する機会がなかった。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	保護者様からの希望があれば行う。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		自校舎の例としては、学校の定期テスト前にテスト範囲をfaxで送ってくださる学校がある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	保護者様からの希望があれば行う。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		機会があれば設けていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		機会があれば参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援の様子を伝えるだけでなく、ご家庭や学校での様子や困りごとを伺い、今後のアプローチについて共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族支援の時間を通して、保護者から相談を受け、指導員と情報共有を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に児発管より丁寧な説明が行われている。	ご不明な点がないか伺いつつ進めていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		FD時やモニタリング時には、保護者様と連携を取りながら、子どもにとって何が最善かを考えられている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		半年に一度確認を行い同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		FDの時間を活用し、支援の様子を伝えるだけでなく、保護者様の悩みに対しても必要な助言やサポートを行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		要望があれば時間を設けていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		現時点で苦情の受付はないが、発生時には迅速かつ適切に対応していく。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に一度HPに支援の様子やお知らせなどを発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		支援後のフィードバックの時間では、主に個室を利用し、各職員が利用者本人のことにについて保護者と丁寧にに関わり、情報伝達をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的に研修や訓練を行い確認している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月に一度訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時や普段の様子から話を伺い確認できている子どももいる。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	支援時間に食事をすることはない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		利用者のケガにつながるような物を支援時に置いていないか等、十分に配慮して支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		災害が行った際の避難場所については、利用契約時に児発管よりご家族に周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		月末に職員全体でヒヤリハットを確認し、再発防止策を考え、全体で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を通じて知識を深め、適切な対応方法について理解を深めることができている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に必要な説明を行い、記載が必要であれば保護者様から了承を得ている。	